



特別な思い入れがある試作第1号の「つぼバイオリン」

未知の音色を求めて 不思議な楽器を創作

出石地域には、陶器で楽器を制作し、演奏までをこなす独創的な芸術家があります。時には、手作りの楽器で演奏会を開き、聴く者の心に安らぎを与える活動をしています。

今回は、その男性を紹介しします。

美^み 昇^{つた} さん(78歳)豊岡市出石町八木在住



家業である畳店から転身し、陶器店を営む美昇さん。生家には叔父のバイオリンがあり、音楽には幼いころから親しんできた。空いた時間には趣味の魚釣りを楽しんでいる

周囲の評価を受けて 50歳からの転身

出石地域で陶器店を経営している美昇さんは、陶器を使って世界で一つしかない楽器を作り続けています。創作した楽器の演奏もこなし、クラシックから童謡まで、幅広いレパートリーを持っています。

4代目として、戦後から家業の畳店を継いでいましたが、趣味で続けていた陶芸が周囲から評価を受け、思い切った好きな世界へ転身しました。50歳を過ぎてから陶芸の道に入った美昇さんは、「どうせやるなら自分が楽しめる仕事をした」という思いがありました。と転身に踏み切った当

失敗と成功の連続 楽器づくりに没頭

美昇さんが作る楽器にはさまざまなものがあります。ピッコロと呼ぶ「笛」からつぼに板と弦を張った「バイオリン」、外観が渦巻き状になった「ホルン」、馬頭琴、二胡などの楽器が所狭しと並んでいます。

「自分が想像していた音色よりも不思議な音色が生まれることが多いです。新しい音色と出会えた時がたまりません」と話す美昇さん。試作し

た陶器のバイオリンを弾いてみると意外にも心地よい音色が出ました。

中でも特に変わった楽器は2オクターブの音階が出る笛のピッコロです。縦長のコップ状の器に水を入れて、穴を開けた陶器パイプを挿して吹くと、辺りには、透き通った優しい音色が響き渡ります。

以後、さらなる未知の音色を求めて、異色の楽器を思いつき、失敗と成功を繰り返しながら、楽器づくりにのめり込んでいきました。

病気を乗り越え 音楽活動を再開

美昇さんは、2年前から、体調を崩し、演奏活動を控えていましたが、今年5月にJR豊岡駅前の豊岡市民プラザで開催されたサロンコンサートに出演し、手作りの音色で訪れた観客を沸かせました。

久しぶりのライブを終えた美昇さんは「お客さんが喜んでくれてうれしかった。今後は、体調と相談しながらの活動になります。演奏会に出演するという目標があると元気が出ます」と今後へ

の意気込みを話します。その他、福祉施設や小学校に向いて演奏会も展開しています。

私にとって楽器は友達 これからも続けたい

美昇さんに「自分にとって陶器楽器は何かと聞くと私にとって友達みたいなものです。楽しいときも辛いときもこの楽器たちを手にとって奏でると心が安らぎます。これからも続けていきたいです」と答えてくれました。

どこかで聞いたことのあるような、いつまでも聞いているたいような、そんな音色に、美昇さんの朗らかな人柄が浮かび上がっていました。



新作「つぼバイオリン」でクラシック音楽を弾く美昇さん。温かみのある音色が響く

正しく強く おおらかに

合橋小学校 (但東)

案内者 土肥 幹くん



合橋小学校は、国道426号沿いに位置し、周囲には自然の緑が広がり、出石川が悠々と流れています。この自然環境に包まれて、現在、16地区から114人の児童が通い、学習に励んでいます。

合橋小学校に通う土肥 幹くん(6年)は、幼稚園の時から始めたピアノが特技です。また、2年生の時から始めた柔道も2級の腕前。将来は、自動車開発の仕事をしたいという夢を描く土肥くんは、合橋小学校を紹介してもらいま



たくさんの緑に囲まれた合橋小学校

した。

合橋小学校は、各教室とオープンスペースの間に仕切りがなく、廊下もないことが特徴です。このため、開放的で明るい雰囲気の中で学習ができ、1年生から6年生までが仲良く学校生活を送ることができます。

このほかに、「花と緑の学校」と言われるほど、校舎の至る所に花を植えています。プランターや植木鉢にマリィゴールドやジニアなど、たくさんのお花を植えて校舎を彩っています。

また、校舎裏の畑では地域の方々に教わりながら、ピーマンやナス、タマネギ、キュウリ、カボチャなどの野菜づくりをしています。苗を植えてからも日々の草抜きや水やりなどに頑張っています。そして7月には、育てた野菜を収穫して、夏野菜カレー

作り」をします。5・6年生が野菜や肉を切って調理して全校生で食べます。自分たちが育てた野菜で作ったカレーはとてもおいしいです。4年生のときには、飛行機搭乗体験もしました。この日は、コウノトリ但馬空港から大阪空港まで飛行機に乗って行き、電車に乗り換えて吹田万博公園に行きました。

公園では、民族学博物館や太陽の塔を見学したり、友達といっぱい遊んだり、楽しい思い出を作りました。



全校生が楽しみにしている「夏野菜カレー作り」。おいしくできたかな

合橋小学校では、自然の緑に親しみながら、地域とのつながりや友達との交流の時間を大切にしています。

笑顔の顔輪

体を動かして健康を保とう

「健康を考えようサークル」(豊岡)

「健康を考えようサークル」は、健康の維持や体力低下の防止、生活習慣病の予防など健康についての活動を展開しています。平成17年、エアロバイクインストラクターと看護師、健康について関心のある有志が集い発足し、現在、22人が所属しています。

代表の吉田真理子さん(日市)は、楽しみながら体を動かして、健康を維持できるような活動を展開したいです」と話します。

主な活動は毎週月曜日に但馬文教府で行っているエアロバイクです。運動不足を感じている人、運動を始めた人、生活習慣病が気になる人などさまざまな人が集まって活動しています。

また、会員以外にも参加を募って、年1回程度健康教室を開催しています。これまでに骨密度の測定、体力測定、調理実習などを行いました。そしてお昼には調理実習で

作った料理や野菜たっぷりのメニューの弁当を食べ、参加者たちとの交流を楽しんでいます。

メンバーの平尾幸子さん(八社宮)は「自分のペースでできるところがこのサークルの魅力です」と声を弾ませます。

同サークルは、運動や健康のことについて考えたり、仲間とわいわいと語り合ったりするよう楽しいサークルを目指して活動を続けています。元気と笑顔が印象的なサークルでした。



音楽に合わせて体を動かし、汗を流すメンバー